

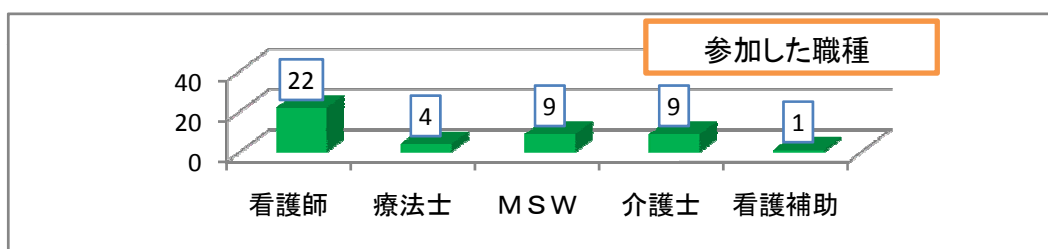
# 島原脳卒中地域連携施設研修会

現在までに、平成22年度 I 回、平成23年度2回、平成24年度 I 回研修会を行ってきました。  
3年間で45人の参加者がありましたので、過去3年間のデータを取ってみました。

## 1. 参加した職種

	H22年度	H23年度	H24年度	合計
看護師	1	12	9	22
療法士	0	3	1	4
MSW	0	7	2	9
介護士	5	0	4	9
看護補助	0	1	0	1
合計	6	23	16	45

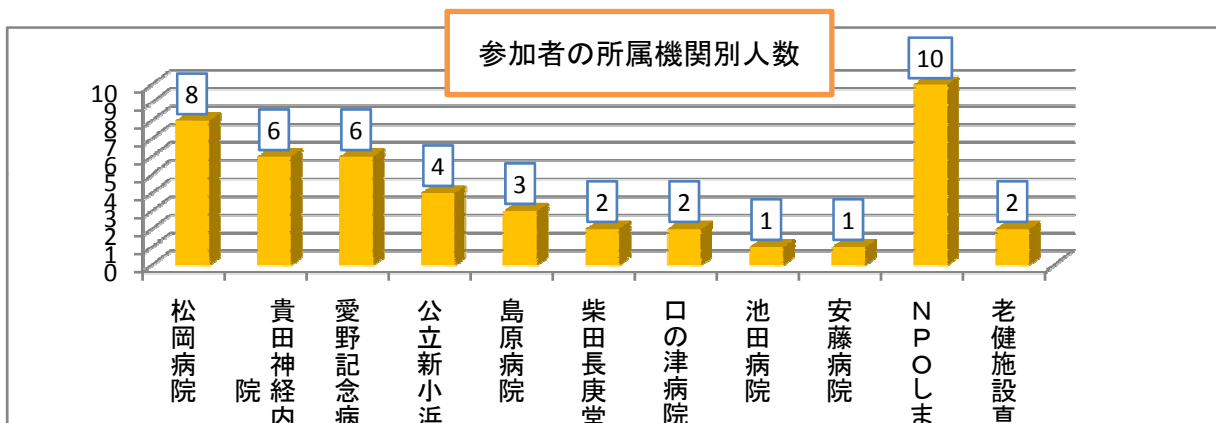
研修参加者は、看護師が多いのは当然であるが、連携を取る為に顔の見える関係作りや施設の内容を知りたいとMSWの参加が多いのもうなずける。  
また、維持期施設の介護職の参加が多いのも脳卒中の地域連携の現状であると思われる。



## 2. 参加者の所属する医療機関・介護保険施設別人数

	H22年度	H23年度	H24年度	合計
松岡病院	0	8	0	8
貴田神経内科病院	0	4	2	6
愛野記念病院	0	4	2	6
公立新小浜病院	0	4	0	4
島原病院	0	2	1	3
柴田長庚堂病院	0	1	1	2
口の津病院	0	0	2	2
池田病院	0	0	1	1
安藤病院	0	0	1	1
NPOLまばら	6	0	4	10
老健施設真寿苑	0	0	2	2
合計	6	23	16	45

参加者の所属する機関を調査したが、平成22年度から開始したが、施設提供をした「公立新小浜病院、島原病院、池田病院、NPOLまばら」は参加したくても出来ない状況にあったと思われる。  
しかし、研修の意義を理解して、毎回研修生を出す病院もある。  
今まで22連携施設の全てに研修の案内をしているが、今後は過去に参加していない医療機関や介護保険施設には積極的に声をかけ、全施設と共有していきたいと思う。

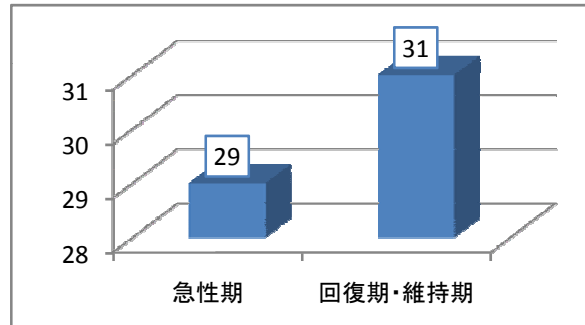


研修場所は、1日目急性期病院(当院)、2日目は回復期と維持期の病院・施設で行っている。研修は基本的には2日間の参加を呼び掛けているが、それぞれの目的に応じて1日目のみ・2日目のみなど多様な参加方法である。

また、研修場所の選択は、1日目は急性期である当院と決めている。2日目は毎回島原脳卒中地域連携パス研究会の実行委員会で決定をしている。

参加者は、急性期と回復期・維持期のどちらを研修したいのか調べてみたら下記の表のようになったが、勤務の都合で人数を半分に分けて参加する事もあったので、数字に大差はなかった。

	H22年度	H23年度	H24年度	合計
急性期	6	15	8	29
回復期・維持期	0	18	13	31
合計	6	33	21	60



#### 4. まとめ

参加者のアンケートの結果でもあるように、「急性期・回復期・維持期のスタッフが脳卒中患者の看護・訓練・介護していく為にも、今後も続けて欲しいと」毎回全員が答えている。

地域が一つにまとまる為にも、今後も継続していく予定である。